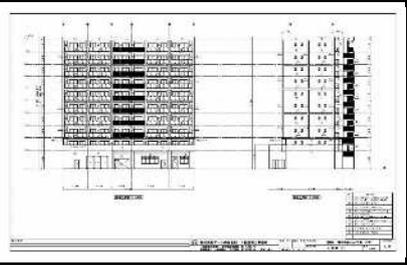


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市中央1丁目計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	海老名市中央1丁目209番5・210番1・210番3	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	135人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年7月8日
敷地面積	1,133㎡	作成者	株式会社アート総合企画一級建築士事務所
建築面積	362㎡	確認日	2022年7月8日
延床面積	2,533㎡	確認者	株式会社アート総合企画一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83%

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.9**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.2**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺には大きな商業施設があるため、多くの移住者を想定し居住する人が利用しやすいような住居環境などを計画した。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音性能T-2の開口部を使用して騒音の侵入を防ぐことで、住みやすい環境に務めている。住戸はカーテンレールを設置し、庇を利用することが7割を対策をしている。F☆☆☆☆の建材を全面的に採用し、かつ、クロルビリス添加材不使用とし室内の空気環境に配慮している。	躯体材料の耐用年数の長い材料を選択、また空調・給排水配管は更新必要間隔の長い管材を選択しており、建物の長寿化を図っている。	建物内に事務所を設けることで地域活動に貢献をしている。植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を多く採用することにより、設備システムの高効率化を図っている。また、断熱性能等級4に相当し環境負荷への配慮をしている。	省水型機器を採用しており、水資源の保護を図っている。躯体と仕上げ材は容易に分別可能であり、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。	敷地内には自転車置き場、駐車場を十分に設け、利用者が利用しやすいように配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される